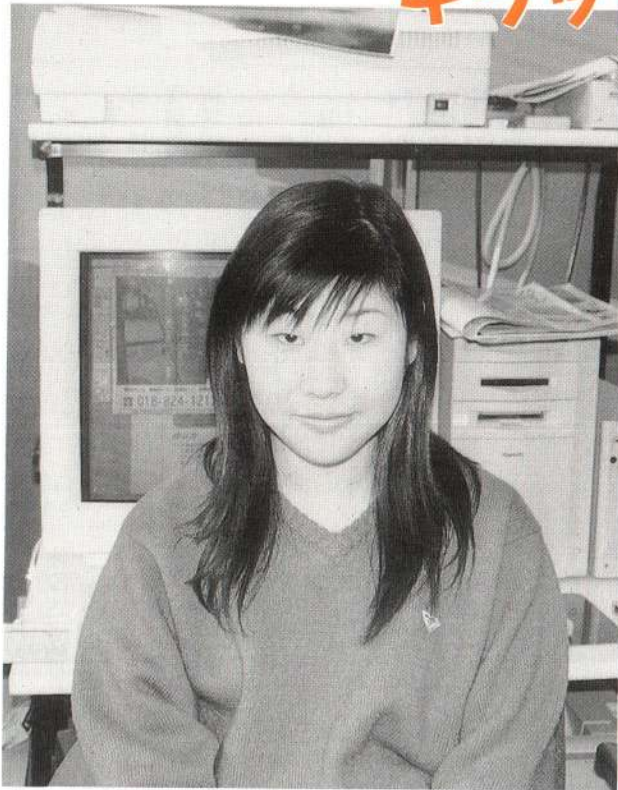


キラットさん



秋田職業能力開発短期大学校 2年

荒川 幸さん



今回のキラットさん、荒川さんは能代市出身で、高校時代は写真部に在籍していました。ほかに絵を描くのが好きだったので、デザイン学科のある職能短大を選んだそうです。

デザインは大まかに三つに分類されるそうです。まずグラフィック（視覚伝達）デザインは、絵やポスターなどを製作します。プロダクト（産業）デザインは、家具など、日常生活物のデザインです。スペース（環境）デザインでは、住宅や公園などの生活空間を設計します。これらすべてをこなすには、パソコンから、製図、木工技術までマスターしなければならぬので大変です。荒川さんは授業で初めてパソコンや製図用具、大

工道具に触れたそうです。

デザインをしていてうれしいのは、頭に思い浮かんだアイデアが実際に形になって現れたときだそうです。もし、アイディアが浮かばないときは、気分転換も兼ねて雑誌をパラパラめくったり、図書館で参考になるものを探します。ここに載っている絵は、荒川さんがデザインし、少年自然の家のイメージキャラクターに採用された作品です。作品について「作品の条件であるイヌの図柄に自然体験のイメージを加えました。でも、思いついたときは締め切りぎりぎりでした」と話してくれました。

自分の性格については「大きっぱで、あまり物事を深く考えませんが、みんなの作業を見ると丁寧なんです。それに比べると、私は雑なんです」とちよつと照れ気味。将来の夢は、結婚式などで、みんなが喜んでいるところを表情豊かに撮れるようなカメラマンになることだそうです。趣味を仕事にするのは楽しいのですが、この世界の厳しさを知る荒川さんは、目標のためには、ある程度の下積み生活の覚悟もできています。

彼女の卒業研究のテーマは、写真で人のいろいろな表情を追い求めること。そのため、今は、題材を探して、自転車で近所を走り回っています。もし、モデルを頼まれましたら、皆さん、とびきりの笑顔でこたえてください。

私の本棚

中央図書館新着図書



『霧の流れる川』

岡田 依世子 著

講談社

どこからともなく現れ、「ほらあな、しらないか」と消え入りそうな声でたずねてきた不思議な少年は、やせ衰えて、ぼろぼろの衣服を身につけ、日本語もおぼつかない。ほら穴に忘れ物をしたので帰れないと言っただがー。花岡事件をもとにした小・中学生向けの物語。

一般書

◇難風（安部龍太郎）◇偽証法廷（小杉健治）◇午睡のあとプラトーンと（三枝和子）◇奔流（田中芳樹）◇十津川警部の試練（西村京太郎）◇トライアル（真保裕一）◇ガリバー・パニック（楢岡平）◇死ぬまでの僅かな時間（井沢元彦）◇無制限（渡辺容子）◇受精（帚木蓬生）◇天使の囁き（貴志祐介）◇突撃三角ベース団（椎名誠）◇ほくそ笑む人々（曾野綾子）◇ボーイフレンド（北川悦吏子）◇日本人の死生観（立川昭二）◇子どもをのばす9つの性格（鈴木秀子）◇花葵徳川邸おもいで話（保科順子）◇あるべき明日（堺屋太一）◇昭和天皇二つの「独白録」（東野真）◇ココ・シヤネル悲劇の愛（ソフィ・トゥルバック）◇ローマの休日（イアン・マクレラン・ハンター）◇インド盗賊の女王ブルーラン・デヴィの真実（マラ・セン）◇村上昭子の漬けもの（村上昭子）◇手づくりログハウス大全（地球丸発行）ほか

児童書

◇コアラしんぶん（斉藤洋）◇走るんや！（岸川悦子）◇名優犬トリス（山田三千代）◇ひゅーどろとへんてこしんにゅうせい（山脇恭）◇がんばれプーチン（おぼまこと）◇レーザークラウゼンじゅうビービー（いとひろし）◇ブタはともだち（マーク・ティグ）◇いもごころ（川村たかし）ほか

11月のテーマ関連図書コーナー・・・『文学賞作品展』
11月の親子読みかせ会・・・6日（毎月第一金曜日）14時30分～
11月の中央図書館の休館日・・・3日、15日、23日、26日